

「経歴等把握票」の記入の仕方

1 最終学歴

- (1) 「学校名」欄は、「〇〇高校」、「〇〇大学」、「〇〇専門学校」などの名称を御記入ください。
- (2) 「学校名」欄について明確に御記入できない場合には、「高校」、「大学」といった区分のみの記入でも結構です。
- (3) 「学部・学科・専門課程名」欄は、「普通科」、「商業科」、「農学部」、「水産学部」などを御記入ください。

2 職歴

- (1) 最終学歴後の全ての就業経験（パート、アルバイト、育児休業中の職員の代替を含む。）について御記入ください。
就業期間の記憶が曖昧な場合は、「〇年～〇年」と記載しても結構です。
なお、農林水産関係機関（国、都道府県、市町村、JAなど）に勤務された経験がある場合は、「会社名等」欄に、その組織名と具体的な仕事の内容を御記入ください。
- (2) 派遣、パート、アルバイトの雇用形態で、勤務先は変わったものの、同様の業種で就業されていた場合には、以下の例のとおりまとめて御記入いただいても結構です。
例：昭和50年4月～平成7年3月 経理事務
- (3) 派遣であった場合には、「登録していた派遣会社名」ではなく、「勤務していた会社名」を御記入ください。
また、例えば企業名を覚えていない場合は、一般名称でも結構です。
例：コンビニ
- (4) 「業種区分」欄の「1. 一般事務」とは、人事や経理の事務、パソコン操作やデータ取扱などの事務職です。それ以外は「2. その他」に○印をしてください。
- (5) 「雇用形態の区分」欄の「3. その他」には、パートやアルバイトを含みます。

3 他府省、都道府県、市区町村が実施する統計調査員従事歴

農林水産省大臣官房統計部が実施している統計調査以外の統計調査員の御経験がある場合は、従事した期間、実査機関名及び統計調査名を分かる範囲で御記入ください。

なお、農林水産省以外の国の機関が都道府県や市区町村を通じて実施している調査員調査は以下の「参考」を御覧ください。これら以外にも、都道府県や市区町村が独自で実施している統計調査もあります。

～参考～ 国の機関が実施している調査員調査

総務省：国勢調査、住宅・土地統計調査、労働力調査、小売物価統計調査、家計調査、個人企業経済調査、就業構造基本調査、全国消費実態調査、社会生活基本調査、経済センサス

厚生労働省：薬事工業生産動態統計調査、賃金構造基本統計調査、国民生活基礎調査

経済産業省：工業統計調査、経済産業省生産動態統計調査、商業統計調査、商業動態統計調査

国土交通省：港湾調査

4 免許・資格

- (1) 自動車運転免許、簿記、IT・パソコン関係、医療事務の資格をお持ちの方は、その名称に○印を御記入ください。

これら以外にも免許や資格をお持ちの方は、「5. その他」欄に御記入ください。

- (2) 国、都道府県などから認定された次の農林水産関係の資格をお持ちの方は、その名称に○印を御記入ください。

これら以外にも農林水産業に関する資格をお持ちの方は、「7. その他」欄に御記入ください。

- ① 都道府県知事が認定している「農業経営士」
- ② 農林水産省が主催している「農業改良普及指導員」
平成16年度以前の「農業改良普及員」及び「専門技術員」を含む。
- ③ 林野庁が主催している「林業普及指導員」
平成16年度以前の「林業改良指導員」及び「林業専門技術員」を含む。
- ④ 水産庁が主催している「水産業普及指導員」
平成16年度以前の「水産業改良普及員」及び「水産業専門技術員」を含む。
- ⑤ 株式会社日本政策金融公庫が主催している「農業経営アドバイザー」
- ⑥ 農業協同組合が実施している「営農指導員」

5 地方農政局等までの交通手段及び所要時間

御自宅から最寄りの地方農政局（又は農林水産センター）の庁舎までの交通手段とおおよその所要時間を御記入ください。